



(2)

確認される佐山家の名がある。山口村は那賀郡・阿南市などを流れる桑野川に隣接しており、この木簡は河川に設けられた番所を通過する際の許可証である。河川を経路とした物資の運搬状況を示すものと推定される。

徳島藩の在地支配制度として、藩士とその領地との直接的な関係を示す地方知行制がある。文献からの検討も行なわれているが、出土木簡にもその状況を示す事例が増加している。中徳島町二丁目遺跡（本誌第二二号の徳島城下町跡）、中前川町二丁目遺跡（本誌第二三三号）がそれに相当する。所属年代や藩士の石高、所領地の分布などの情報が蓄積されつつある。それに伴い、物資の流通状況もより具体的に becoming している。

執筆にあたって、報告書作成時の木簡訳読者である根津寿夫氏（徳島市立徳島城博物館）のご教示を得た。

9 関係文献

徳島県教育委員会・（財）徳島埋蔵文化財センター『南前川町二丁目遺跡——鳴門教育大学（附小）校舎新営埋蔵文化財発掘調査報告書——』（徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第三六集）（二〇〇二年）

（藤川智之）

木簡学会役員（二〇〇一・〇二年度）

会長 佐藤 宗諄		副会長 鎌田 元一		委員 今泉 隆雄		清水 みき		土橋 誠		本郷 真紹		山中 敏史		渡辺 晃宏		石上 英一		幹事 市 大樹		鈴木 景二		西村さとみ		増渕 徹		吉江 崇	
田辺 征夫		岩本 正二		舘野 和己		西山 良平		榎山 明		吉川 真司		東野 治之		岩宮 隆司		竹内 亮		馬場 基		山本 崇		吉川 聡					
佐藤 信		寺崎 保広		平川 南		山下信一郎		和田 萃				鷺森 浩幸		鶴見 泰寿		古尾谷知浩		横内 裕人									